

# THE RACING PIGEON

# 10

2020 OCTOBER

Vol. 739

# レース鳩



連載 3 / グロリアス — 最高の栄誉・協会タイトル 第3弾「日本エースピジョン賞」

連載 5 / グランヒストリアー — GNの三大聖地の時代 ③

特集 / 天気のみ・カタ “Windy.com”

鳩レース仕様 取扱説明書



20年春埼玉連盟地区N5,419羽中総合優勝  
(実距離565.487K / 分速1327.954m)

“ナショナル・インテル・ハリー”

19KA29076 BC ♀ 安達孝行鳩舎 作翔(埼玉・埼玉草加連合会)  
同腹 / 20年春埼玉連盟Rg総合5位

**スーパープリンス”近親**

“ケーツ”  
B16-3141048 B ♂  
ジノ・クリケ作  
現・安達孝行鳩舎種鳩  
“スーパープリンス”の  
直仔×娘



**20年度埼玉連盟会長賞**  
(合計入賞率0.004259 \* 全国1位相当)

“レジョナル・クリケ・エース”  
19KA29462 B ♀ 安達孝行鳩舎 作翔  
20年春埼玉連盟地区N5,419羽中総合18位  
埼玉連盟Rg8,535羽中総合8位

▶ “ケーツ”(右頁掲)  
▶ 18KA02952 B KANDA LOFT 作 安達孝行 使翔  
19年春埼玉連盟Rg4,788羽中総合6位・連合会優勝  
▶ 16LC03995 B KANDA LOFT 作  
 (“ミステリー・ヤン”×“クライネ・サバイバー”)×  
 “ハリー”近親  
▶ B12-4213379 B ロメイネ・レヒースト 作

**19年春埼玉連盟Rg総合6位**

18KA02952 B ♀  
KANDA LOFT 作出  
安達孝行鳩舎 使翔  
“ハリー”近親の孫



**20年春埼玉連盟Rg8,535羽中総合優勝**  
(実距離442.923K/分速1174.968m)

“レジョナル・クリケ”  
19KA29464 B ♀ 安達孝行鳩舎 作翔



▶ “ケーツ” B16-3141048 B ジノ・クリケ 作  
 “ブラックプリンス”  
▶ B13-3031524 DCW ジノ・クリケ 作  
▶ “スーパープリンス” B ジノ・クリケ 作翔  
 プールジュN22,476羽中5位  
▶ 源鳩 “プリンス”の直仔×“フィーゴ”の孫  
▶ “ズワルチェ782” B05-3188782 DC  
 01年プールジュN優勝 “スピード” (\*基礎鳩  
 “スベンサー”の直仔/モイレマンの “カデッ  
 ト”直系)の直系  
▶ B13-3031515 B ジノ・クリケ 作  
▶ 上記 “スーパープリンス”  
▶ B12-3162792 B  
 4~5当日長距離Nレース  
 最優秀鳩賞 “バジャ”×  
 “ピラード”の娘

▶ 18KA02952 (左頁掲)

**全兄弟**

**表紙の鳩**

**マンモス埼玉に伝説誕生!**  
**中距離メインレース連続総合優勝!**  
移籍2年々々2つのアタリ配合でRg&地区Nダブル制覇の衝撃!  
安達孝行鳩舎(埼玉草加連合会)

**遅咲きの“超新星”**  
2つのアタリ配合でW総合優勝!

レースマンたるものみな、勝利の象徴である「総合優勝」を目指すものだ。しかも全国屈指の大羽数の中で実現できれば、その喜びと達成感はいくらも知れないものである。安達孝行さんはこの夢を叶えるべく、その参加羽数の多さから「マンモス」と謳われる埼玉連盟に移籍。18年から鳩舎を都内から埼玉県三郷市内に移し、参戦に至った。その際、戦力の強化も図る。注目したのは、ヨーロッパの句の飛び筋。中でも当時ブームであった超銘鳩「ハリー」、そしてジノ・クリケの基礎鳩「スーパープリンス」の筋には主軸としての期待を抱き、種鳩を迎え入れたようだ。

レース鳩は飼い主の感情をくみ取り、形にするもの。安達さんの溢れんばかりの情熱は夢の実現の一步として、早くも2シーズン目にRg総合6位という結果を生み出す。ヒロインの「18KA02952」は古くから親交を深めてきたKANDA LOFTの作出鳩で、父方が「ハリー」にフェルケルク父子、フェルホルト、キース・ボスア、コープマンの混成で、母方がロメイネ・レヒースト。憧れの埼玉連盟で初シングルで連合会初優勝、しかもお気に入りであった「ハリー」のラインということ、その喜びが大きかったことはいままでもない。

翌秋にもRgで連合会を再び制し、総合6位に入賞。今度は古くから愛用するヴァンホープにKANDA LOFT経由で導入したプールジュN2位の全姉妹、そして「対埼玉連盟」用に若林登さんからトレードした新戦力ジノ・クリケによる成果であった。2シーズン連続ということ、自信をつけたという安達さん。パートナーである斎藤さんと共に最高の仕上がりで臨んだ今春のRgではなんと総合優勝を果たしてしまふ。

「帰還した方角から上位はいけるかな、と期待していたら、まさかのトップ。この瞬間のために鳩レースをやってきたので、感無量というやつです。」  
しかもこのドリームメーカーは、前述の初シングル鳩「18KA02952」とジノ・クリケ作で、今をときめく「ピラード」を絡ませた「スーパープリンス」直仔掛けとの組み合わせで作られた1羽だった。安達さん曰く、最高のトリに最高のトリを——ということ。ペアにしたようだが、全兄弟は、同レースで総合8位。地区Nでも総合18位に入り、会長賞に選出されている。入賞率は前年の全国1位を上回る「0.004259」。コロナ禍に伴う「緊急事態宣言」での鳩レースの中断さえなければ、全国1位に輝いていた可能性は大だ。同配合でRg総合優勝に「幻」の会長賞全国1位と、これはアタリ以外何物でもない。

このようにRgで自身「初」の総合優勝を手にした安達さんであったが、「二度総合優勝したものは近いうちに再び勝利を手にする」というビジョンスポーツのセオリーが早くも発動した。次戦の地区Nでもトップを射止め、埼玉連盟史上初となる「Rg&地区Nダブル総合優勝」という快挙を成し遂げたのである。

「Rgの時とコースが同じでしたし、自鳩舎の2番手を突き放していました。これはいいところに来るなという、手応えを感じていましたが、さすがに2連勝までは想像できなかったですね。」  
今度のもう一つの本命——「ハリー」の筋だった。母鳩のダーゼンベルグ作は「ハリー」の「直仔×孫」交配の直仔、そして両親「ヨングブリクセム」×「ディルクイエ」から見れば「3重近親」の直仔となる。しかもレオ・ヘレマンズの「オリンピアード003」と「デン・アス」の銘血も搭載。世界的APの塊であるこの1羽

**20年春埼玉連盟地区N5,419羽中総合優勝**

“ナショナル・インテル・ハリー”  
19KA29076 BC ♀ 安達孝行鳩舎 作翔  
▶ 16MA04883 B 飯島 作  
 全兄弟 / 16年秋500K7位、17年春300K優勝  
▶ 15MA01529 BW 飯島 作  
 秋200K、300K各3位×“フィーネケ・ヨングエクセレント”  
▶ 14MA00884 BC 阿部純孝 作  
 “サンコーワープ”(12年秋Rg総合優勝)×“ワープ”(10年春Rg総合優勝)  
 全兄弟 / 200K優勝、3位  
▶ NL17-1516803 BC レオン・ダーゼンベルグ 作翔  
 “ジミーボーイ” NL15-1848944 BC  
▶ “ハリー” BC ヤン・ホーイマンス 作翔  
 09年WHZB長距離ナショナルエースビジョン賞1位他  
▶ “レオンティ” BC 優勝3回 母 / “オリンピアード003”の孫  
▶ “ドーター・サニーボーイ” NL14-1210080 BC ホーイマンス 作  
 “サニーボーイ”(上記“ハリー”全兄弟)×“ハリー”娘

**20年春埼玉連盟Rg8,535羽中総合5位**

19KA29075 B ♀  
安達孝行鳩舎 作翔



**同腹**

**“ハリー”の近親**

NL17-1516803 BC ♀  
レオン・ダーゼンベルグ 作  
現・安達孝行鳩舎種鳩  
“ハリー”の直仔×孫  
 (“ヨングブリクセム”×  
 “ディルクイエ”)3重近親



**母**

も若林さんから導入したものである。しかもその同腹が前戦のRgで総合5位。「マンモス埼玉」を舞台にダブル総合シングルを生み出したとあって、こちらも「アタリ」といって過言ではないだろう。

安達孝行鳩舎(埼玉草加連合会)